

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	26 日	記入者	東辻 裕子	
調査者名	石井	神野	亀田	鈴木	東辻	前田

文化財名	岡峯古墳					
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()	
指定年月日	1966年(昭和41)3月26日					
所在地	吉野郡下市町阿知賀					
所有者 管理者	下市町					
員数	1基					
時代区分	6世紀後半					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)		
案内板の状況	有。 石室内部の写真と出土品のX線写真付きの説明板。					
公開	墳丘部はフェンス越しに見学自由。石室内部の見学は下市町教育委員会へ要申込。					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ()					
当面の課題	町営住宅隣の児童公園内にあり、地域住民の方が定期的に草刈りや清掃をされているそうで、きれいに管理されている。					
今後の課題	墳丘周辺の管理を地域住民に委ねるしかないが、特に課題はないと思われる。					
その他 (由緒など)	吉野川左岸(南側)、標高約160mの住宅地にたたく、直径約18m、高さ約4.5mの円墳。ほぼ西に向かって開口する横穴式石室で、吉野川で採石された緑泥片岩を主に構築される。玄室奥壁に棚石が設けられておりその下に箱式石棺が1基安置された、岩橋(いわせ)型石室といわれる珍しい埋葬形態。出土遺物は日本最古といわれる唐草文の象嵌が施された素環頭柄金銅装黒漆塗大刀など。(下市町教育委員会資料等より抜粋)					
コメント	古墳が極めて少ない吉野地域において奈良盆地の古墳には見られない特徴の埋葬形態や、優美な環頭大刀などの出土品は地域の宝と思われる。下市町観光文化センターで石室内部の写真や出土品の一部が展示されている。 町営住宅の建設で一度は破壊の危機に瀕したが、これからも大切に保存していただきたいと切に願う。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	9 月	26 日	記入者	東辻 裕子	
調査者名	石井	神野	亀田	鈴木	東辻	前田

文化財名	岡峯古墳
------	------

墳丘と案内板	説明板
--------	-----



石棺と石棚(観光文化センター展示写真より)

箱式石棺内部(観光文化センター展示写真より)



岡峯古墳の箱式石棺
棺の内法は長さ165cm、幅62~64cm、深さ50cm

玄室内部壁 小口積みされた緑泥片岩

観光文化センターで展示されている出土品

